

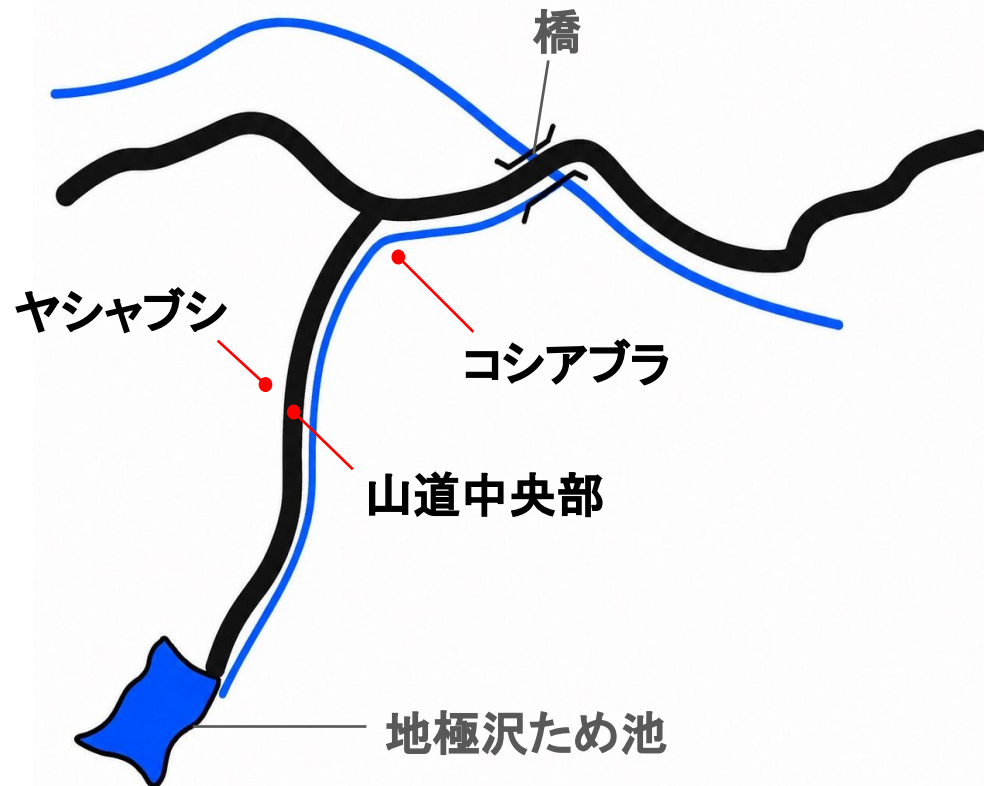
# **“ 葛藤 ” はなぜ生まれるのか**

**2026 年度 浜通り環境放射線研修 成果報告会**

**大熊E班 新美 颯大・入江 真生・諏訪 花音・飯田 彩希・谷口 諒真**

# 採取地点と仮説

## 採取場所 | 地極沢



1

### 葉の採取位置に関する仮説

根元からの距離が短い葉ほど  
放射性セシウム濃度が高くなる

2

### 土壌の採取位置に関する仮説

土壌中の放射性セシウム濃度は  
採取地点の環境条件によって異なる  
コシアブラ > ヤシャブシ > 山道中央部

3

### 土壌と葉の関係に関する仮説

土壌中の放射性セシウム濃度が高い地点ほど  
その周辺に生育する植物の葉における  
放射性セシウム濃度も高くなる

# 測定結果

## 葉の放射性セシウム濃度

| 植物    | 採取位置    | 放射能濃度 [Bq/kg] |
|-------|---------|---------------|
| ヤシャブシ | 根元から遠い葉 | 1147 ± 131    |
|       | 根元に近い葉  | 976 ± 101     |
| コシアブラ | 根元から遠い葉 | 890 ± 160     |
|       | 根元に近い葉  | 1156 ± 149    |

## 土壌の放射性セシウム濃度

| 採取地点            | 放射能濃度 [Bq/kg] |
|-----------------|---------------|
| コシアブラ根元付近(水辺斜面) | 11391 ± 122   |
| ヤシャブシ根元付近       | 6813 ± 86     |
| 山道中央部           | 21327 ± 184   |

### ① 葉の採取位置

根元からの距離による明確な濃度差は認められなかった

### ② 土壌の採取位置

採取地点によって濃度が異なった  
山道中央部＞コシアブラ＞ヤシャブシ

### ③ 土壌と葉の関係

土壌と葉の放射能濃度に単純な対応関係はみられなかった

## ① 葉の採取位

置明確な距離依存性はみられなかった

→ 両種とも落葉樹であり、葉に放射性セシウムが長期間蓄積しにくい可能性

## ② 土壌の採取位

置山道中央部＞コシアブラ＞ヤシャブシ

→ 採取地点の水流や人為的攪乱の違いが、土壌中の放射性セシウム濃度に影響した可能性

## ③ 土壌と葉の関係

土壌と葉の放射能濃度に単純な対応関係はみられなかった

→ 植物種や根の分布など、土壌濃度以外の要因も影響した可能性

放射性セシウム濃度には、採取地点の環境条件と植物側の要因が複合的に影響すると考えられた

## 復興 とは何か？

対話や交流などを通して知った意見

若者が何をしているかが分からない、知らない人が怖い

元の大熊町に戻ってほしい

散策で訪れた  
公営住宅での視線

復興に求めること → 個人により異なる

## 班での意見交換（復興で何を指すべきか）

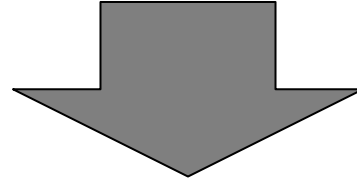
### 次世代につなぐための復興

- 町の人にとって大切な居場所を残したい
- 大熊という町を残すためにも進むべき
- もともと高齢の町 → 維持ではつぶれてしまう
- もう新しい町はできている → 過去には戻れない
- 事故がなくても大熊町は変わっていた？

### もともと住んでいた町民のための復興

- 震災前のもともとの大熊に近づける
- この町の状態を残したい cf.) 広島市の原爆と原発事故の関係
- 教訓として残していく: 観光。「伝える」ならば、新しくなったら信じられなく

### まちの終活



**意見が分かれた理由に“葛藤”があるので  
は？**

復興においても様々な立場の人が関わる

## それぞれの立場から“葛藤”について考える

町民(震災前:大熊町、現在:大熊町)

- ・頭では分かっているけど受け入れられない、受け入れたくない。
- ・自分が許容すれば復興の一步になるけど、先祖代々受け継いできた土地だし、簡単には渡せない、、、

町民(震災前:大熊町、現在:町外)

- ・大熊町に戻りたいけど、震災前の“元の大熊町”がいない、、、
- ・県外での生活が確立しているから戻らなくてもいい
- ・あんまり思い出したくないな

移住者

- ・元々大熊町で農業をやっていた人ができていないのに、移住してきた僕がやっていいのかな
- ・そもそも受け入れられてるのかな、馴染めるかな

農家の方々

- ・いいものなのに”福島県産”ってだけで値が上げられない
- ・もう一度やり直したいけど、農地から作り直さなきゃいけないのは年齢と体力的にきついなあ

# 対話

## 東電・環境省など

- ・進めたいけど技術的にできないことがある
- ・安全と安心を結びつけるためにはどうしたらいいんだろう
- ・安心を信じすぎたらまた安全神話が生まれてしまうかも

## 他県

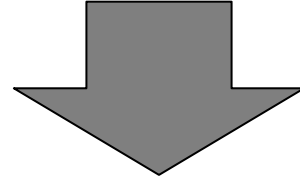
- ・助けたいけど、放射線怖いから後ろめたい気持ち
- ・放射線が自分たちに移ることはないって分かってるけど不安、、、
- ・もう街もきれいなのに、まだお金いるの？

## 大熊町として

- ・被災した建物を残すのか、壊すのか
- ・次世代のための復興か、元々の町民のための復興か
- ・お金をどこにけるべきか

## 自分たちとして

- ・福島県民なのに何もできていない無力感
- ・「他県で遠いから何もできない」でいいのかな
- ・安全と安心をイコールでつなぐためにはどうしたらいいんだろう



**そもそもなぜ“葛藤”がうまれるのか？**

「愛」や「思い」

## それぞれの立場から“葛藤”について考える（再掲）

町民(震災前:大熊町、現在:大熊町)

- ・頭では分かっているけど受け入れられない、受け入れたくない。
- ・自分が許容すれば復興の一步になるけど、先祖代々受け継いできた土地だし、簡単には渡せない、、、

町民(震災前:大熊町、現在:町外)

- ・大熊町に戻りたいけど、震災前の“元の大熊町”がいい、、、
- ・県外での生活が確立しているから戻らなくてもいい
- ・あんまり思い出したくないな

移住者

- ・元々大熊町で農業をやっていた人ができていないのに、移住してきた僕がやっていいのかな
- ・そもそも受け入れられてるのかな、馴染めるかな

農家の方々

- ・いいものなのに”福島県産”ってだけで値が上げられない
- ・もう一度やり直したいけど、農地から作り直さなきゃいけないのは年齢と体力的にきついなあ

# 対話

## 東電・環境省など

- ・進めたいけど技術的にできないことがある
- ・安全と安心を結びつけるためにはどうしたらいいんだろう
- ・安心を信じすぎたらまた安全神話が生まれてしまうかも

## 他県

- ・助けたいけど、放射線怖いから後ろめたい気持ち
- ・放射線が自分たちに移ることはないって分かってるけど不安、、、
- ・もう街もきれいなのに、まだお金いるの？

## 大熊町として

- ・被災した建物を残すのか、壊すのか
- ・次世代のための復興か、元々の町民のための復興か
- ・お金をどこにけるべきか

## 自分たちとして

- ・福島県民なのに何もできていない無力感
- ・「他県で遠いから何もできない」でいいのかな
- ・安全と安心をイコールでつなぐためにはどうしたらいいんだろう

関心(興味)

友達

熱量

思い出

**「愛」や「思い」**

決意

ふるさと・故郷

守りたいまち

正義

それ以上でも、それ以下でもない こと  
しかし、意味のある こと

**浜通りに関わり、生きる**